

想定しうる最大規模の洪水浸水想定区域図（原野谷川・逆川）

※掛川市ホームページの「防災情報」で詳しい地図を見ることができます。

避難行動

周囲が浸水していない場合

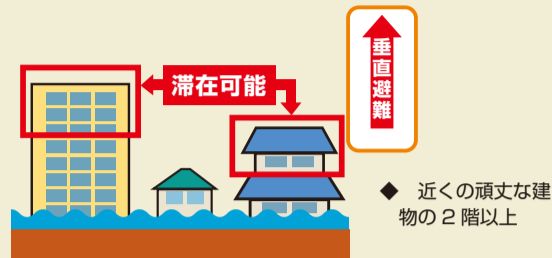
- 浸水前の早い段階で浸水想定区域外に避難することが最も安全です。
- 危険を感じたら早めに「避難場所」へ避難、または近くの高い建物の2階以上へ避難します。

危険区域外への避難
水平避難



周囲が浸水している場合／外に出るのが困難な場合

- 周囲の道路で浸水が始まっている、台風などの風雨が激しい場合は、「避難場所」へ行くことが、かえって危険な場合があります。
- できるだけ高い所へ避難します。
- 20cm程度の浸水でも、流れがある場合は危険です。
- 10cm程度の浸水でも、濁った水で足元が見えない場合は危険です。



★命を守るため、家庭の避難計画を作成しましょう★

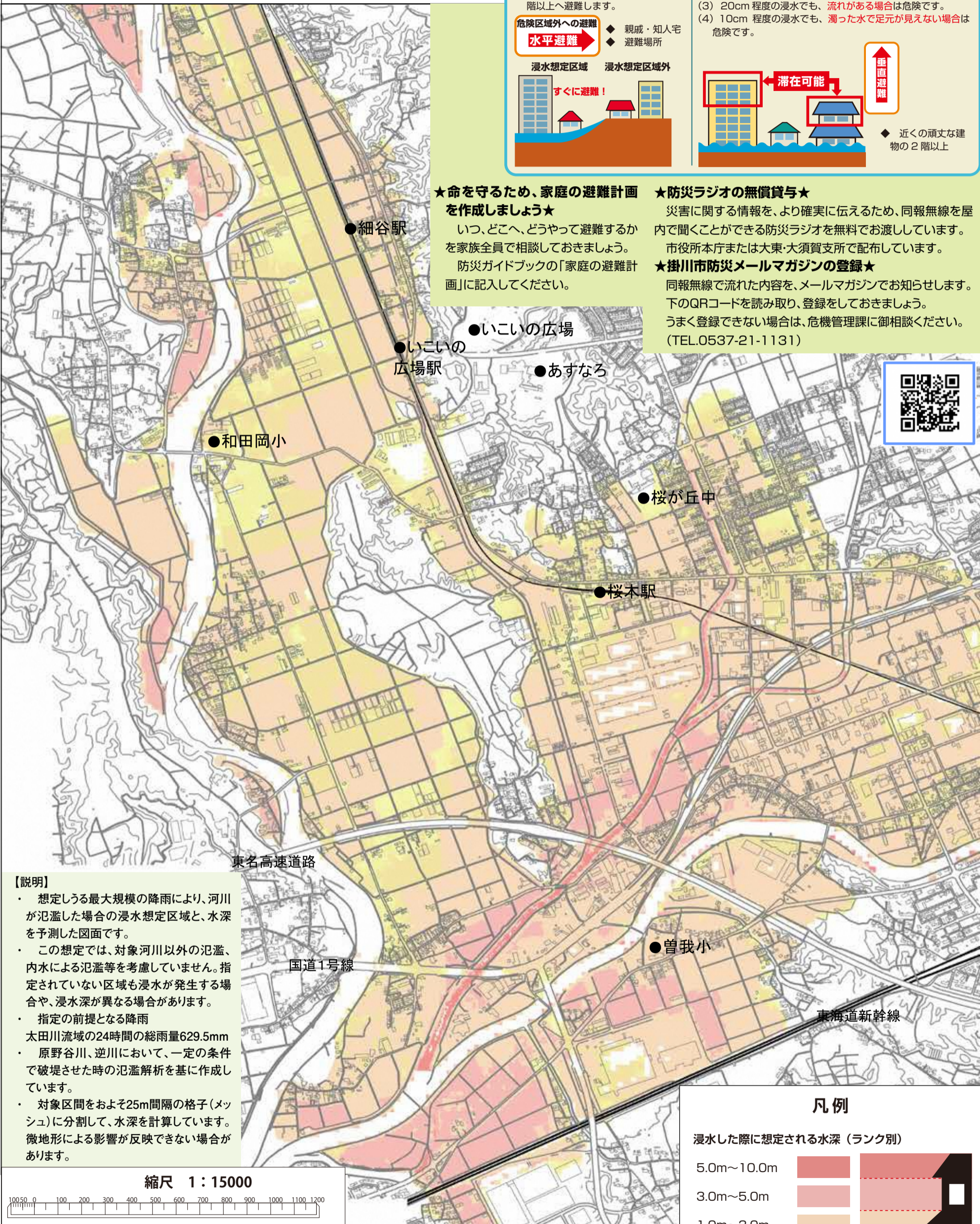
いつ、どこへ、どうやって避難するかを家族全員で相談しておきましょう。防災ガイドブックの「家庭の避難計画」に記入してください。

★防災ラジオの無償貸与★

災害に関する情報を、より確実に伝えるため、同報無線を屋内で聞くことができる防災ラジオを無料でお渡ししています。市役所本庁または大東・大須賀支所で配布しています。

★掛川市防災メールマガジンの登録★

同報無線で流れた内容を、メールマガジンでお知らせします。下のQRコードを読み取り、登録をしておきましょう。うまく登録できない場合は、危機管理課に御相談ください。(TEL.0537-21-1131)



【説明】

- 想定しうる最大規模の降雨により、河川が氾濫した場合の浸水想定区域と、水深を予測した図面です。
- この想定では、対象河川以外の氾濫、内水による氾濫等を考慮していません。指定されていない区域も浸水が発生する場合があります、浸水深が異なる場合があります。
- 指定の前提となる降雨
太田川流域の24時間の総雨量629.5mm
- 原野谷川、逆川において、一定の条件で破堤させた時の氾濫解析を基に作成しています。
- 対象区間をおよそ25m間隔の格子(メッシュ)に分割して、水深を計算しています。微地形による影響が反映できない場合があります。

縮尺 1 : 15000



凡例

浸水した際に想定される水深（ランク別）

